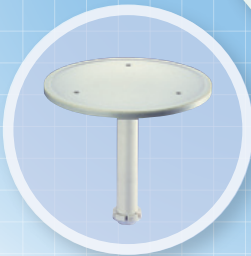
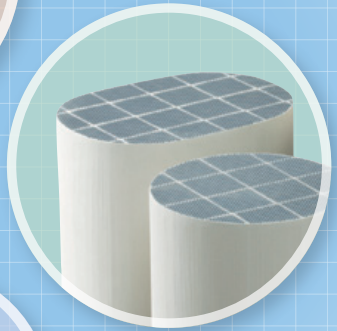
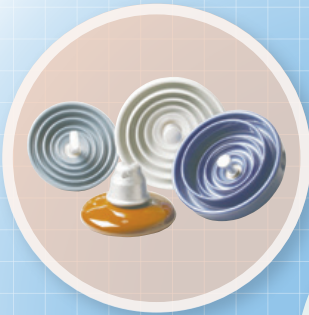


株主の皆様へ

2013年度(第148期)

中間報告書

(2013年4月1日から2013年9月30日まで)





株主の皆様には平素から格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社グループの第148期第2四半期連結累計期間(2013年4月1日から2013年9月30日まで)の事業概況をご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和や経済対策への期待、円高の修正等により、緩やかな回復傾向が続きまして、海外では、新興国の成長鈍化や欧州の低迷の一方、米国経済は緩やかな回復基調が続きまして。

このような状況のもと、当社グループ(当社、連結子会社及び持分法適用会社)におきましては、セラミックス事業において、自動車関連製品で米国・中国および国内市場の自動車販売が堅調に推移したこと等から、触媒用セラミックス担体(ハニセラム・大型ハニセラム)等の需要が増加いたしました。エレクトロニクス事業でも、市況回復により半導体製造装置用セラミックス製品の需要が増加いたしました。電力関連事業は、国内需要が低迷したことから低調に推移いたしました。これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、電力関連事業は微増、セラミックス事業とエレクトロニクス事業は増収となったことから、前年同期比16.5%増の1,417億63百万円となりました。

利益面でも、売上高の増加や為替影響により、営業利益は前年同期比73.5%増の196億60百万円、経常利益は同145.6%増の195億92百万円、四半期純利益は同995.2%増の126億29百万円となりました。当期の中間配当金につきましては、当期の業績及び今後の業績見通しを総合的に勘案し、1株あたり10円を維持させていただきます。

今後の経済動向につきましては、米国の財政政策の動向や新興国の成長鈍化等、先行きに懸念はあるものの、足元では、日本や米国等で回復基調が続いているほか、欧州でも底入れの兆しが見え始めています。また、当社グループを取り巻く環境も、各国の排ガス規制強化に伴う自動車関連製品の需要拡大が見込まれます。このような状況のもと、現時点での通期連結業績の見通しにつきましては、売上高は前期比14.7%増の2,900億円となる見通しです。利益面でも、増収や為替影響により、営業利益は、64.3%増の340億円、経常利益は63.4%増の360億円、当期純利益は118.9%増の250億円となる見通しです。

当社グループの収益と成長を牽引するセラミックス事業の自動車関連製品は、需要拡大に対応したグローバルな最適生産体制を確立するとともに、高付加価値製品の市場投入やさらなる原価低減を進めることにより、収益性の改善に努めます。

一方、業績が低迷している電力関連事業のがいしでは、市場規模に応じた生産体制の整備やスリム化を進めてまいります。NAS[®]電池については安全性を最優先して信頼を取り戻し、継続的な受注獲得とコストダウンにより黒字化を図ってまいります。

エレクトロニクス事業では、半導体製造装置用セラミックス製品の競争力強化や事業領域拡大の一方、電子部品については既存製品に変わる新製品の創出に努めてまいります。

当社グループは、セラミックス技術の先進性を活かし次の成長を担う新規事業の早期立ち上げを図ることで、持続的な成長と企業価値の向上を実現し、資本効率重視、株主重視の経営を推進してまいります。株主の皆様におかれましては、何卒倍旧のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2013年12月

取締役社長

加藤 太郎

連結財務ハイライト

売上高(単位：億円)

4,000

3,000

2,000

1,000

0

'09 '10 '11 '12 '13

■ 第2四半期累計

■ 通期

経常利益(単位：億円)

400

300

200

100

0

'09 '10 '11 '12 '13

■ 第2四半期累計

■ 通期

四半期純利益・
当期純利益(単位：億円)

300

200

100

0

-400

'09 '10 '11 '12 '13

■ 第2四半期累計

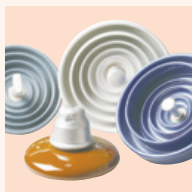
■ 通期

電力関連事業部門

当事業の売上高は、267億95百万円と前年同期に比べて0.1%増加しました。

国内需要が低迷したことから低調に推移しました。

営業損益は、8億45百万円の営業損失(前年同期は42億75百万円の営業損失)となりました。



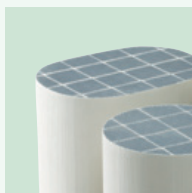
懸垂がいし

セラミックス事業部門

当事業の売上高は、873億89百万円と前年同期に比べて27.5%増加しました。

自動車関連製品で米国・中国および国内の自動車販売が堅調に推移したこと等により、触媒用セラミックス担体(ハニセラム・大型ハニセラム)等の需要が増加しました。

営業利益は、前年同期比35.8%増の193億77百万円となりました。



ディーゼル・パティキュレート・フィルタ(DFP)

エレクトロニクス事業部門

当事業の売上高は、277億27百万円と前年同期に比べて4.8%増加しました。

市況回復により半導体製造装置用セラミックス製品の需要が増加しました。

営業利益は、前年同期比17.5%減の11億1百万円となりました。



半導体製造装置用セラミックス

四半期連結貸借対照表 (2013年9月30日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	312,778	流動負債	76,025
現金及び預金	40,201	支払手形及び買掛金	23,215
受取手形及び売掛金	55,425	短期借入金	7,861
有価証券	93,652	未払法人税等	2,117
たな卸資産	98,375	NAS電池安全対策引当金	13,663
その他	25,228	その他	29,167
貸倒引当金	△105	固定負債	186,828
固定資産	277,422	社債	20,000
有形固定資産	174,888	長期借入金	140,977
建物及び構築物(純額)	52,274	退職給付引当金	16,539
機械装置及び運搬具(純額)	70,097	その他	9,312
その他(純額)	52,516	負債合計	262,854
無形固定資産	5,223	純資産の部	
投資その他の資産	97,310	株主資本	317,220
投資有価証券	72,432	資本金	69,849
その他	25,097	資本剰余金	72,070
貸倒引当金	△219	利益剰余金	176,583
資産合計	590,201	自己株式	△1,283
		その他の包括利益累計額	△612
		その他有価証券評価差額金	13,332
		繰延ヘッジ損益	20
		為替換算調整勘定	△11,754
		在外子会社の退職給付債務等調整額	△2,210
		新株予約権	785
		少数株主持分	9,954
		純資産合計	327,347
		負債純資産合計	590,201

(百万円未満切捨)

四半期連結損益計算書 (2013年4月1日から2013年9月30日まで)

(単位:百万円)

科目	金額
売上高	141,763
売上原価	94,901
売上総利益	46,862
販売費及び一般管理費	27,202
営業利益	19,660
営業外収益	2,245
営業外費用	2,313
経常利益	19,592
特別利益	774
特別損失	1,358
税金等調整前四半期純利益	19,007
法人税、住民税及び事業税	3,680
法人税等調整額	2,490
少数株主利益	206
四半期純利益	12,629

(百万円未満切捨)

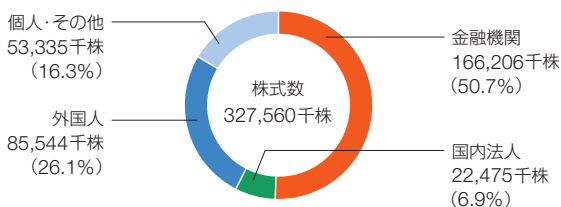
大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	31,565	9.66
第一生命保険株式会社	21,457	6.57
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	18,796	5.75
明治安田生命保険相互会社	18,695	5.72
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	14,505	4.44
株式会社三菱東京UFJ銀行	10,292	3.15
日本生命保険相互会社	4,852	1.48
全国共済農業協同組合連合会	4,309	1.31
メロンバンク エヌエー アズ エージェント フォー イッツ クライアント メロン オムニバス ユーエス ペンション	4,047	1.23
セイコーエプソン株式会社	3,757	1.15

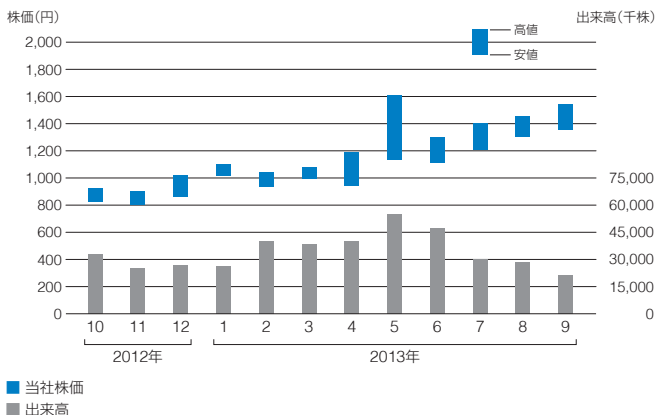
(注) 上記持株比率は、発行済株式の総数から自己株式数(996,789株)を控除した株数を基準として算出し、小数点第3位以下を切り捨てとしております。

株式の情報

発行可能株式総数 735,030,000株
 発行済株式の総数 327,560,196株
 株主数 28,686名



株価の推移



会社概要

表記社名	日本ガイシ株式会社 NGK INSULATORS, LTD.		
商号	日本碍子株式会社		
代表者	代表取締役社長	加藤 太郎	
	代表取締役副社長	浜本 英嗣	
	代表取締役	藤戸 宏	
創立	1919年5月5日(大正8年)		
資本金	69,849百万円		

役員

			*は代表取締役
* 取締役社長	加藤 太郎	取締役	岩崎 良平
* 取締役副社長	浜本 英嗣	取締役(社外)	蒲野 宏之
* 取締役	藤戸 宏	取締役(社外)	中村 利雄
取締役	水野 文行	常勤監査役	和田 洋
取締役	浜中 俊行	常勤監査役	福原 道雄
取締役	武内 幸久	監査役(社外)	田中 節夫
取締役	吉村亜東司	監査役(社外)	寺東 一郎
取締役	坂部 進		

執行役員

			*は取締役を兼務
* 社長	加藤 太郎	執行役員	福井 治男
* 副社長	浜本 英嗣	執行役員	高橋 伸夫
* 専務執行役員	藤戸 宏	執行役員	大口 幸泰
* 専務執行役員	水野 文行	執行役員	横井 公二
* 専務執行役員	浜中 俊行	執行役員	石川 修平
* 常務執行役員	武内 幸久	執行役員	山本 秀樹
* 常務執行役員	吉村亜東司	執行役員	倉知 寛
* 常務執行役員	坂部 進	執行役員	手嶋 孝弥
* 常務執行役員	岩崎 良平	執行役員	松田 敦
常務執行役員	宝池 隆史	執行役員	美馬 敏之
常務執行役員	大島 卓	執行役員	丹羽 智明
常務執行役員	蟹江 浩嗣	執行役員	佐治 信光
執行役員	齋藤 英明		

株式メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
剰余金の配当基準日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日

株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081

東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-232-711(通話料無料)

公告方法	電子公告により当社ホームページ(http://www.ngk.co.jp/IR/kessan)に掲載いたします。なお、事故その他やむを得ない事由により電子公告することができない場合は、日本経済新聞及び名古屋市中において発行する中日新聞に掲載いたします。
------	---

株式に関するお手続きについて

1 特別口座に記録された株式

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、下記連絡先までお問合せください。

お手続き、ご照会の内容	お問合せ先
<ul style="list-style-type: none">・特別口座から一般口座への振替請求・単元未満株式の買取・買増請求・住所・氏名等のご変更・特別口座の残高照会・配当金の受領方法の指定*	特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目 10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料) (平日9:00-17:00)
<ul style="list-style-type: none">・郵送物等の発送と返戻に関するご照会・支払期間経過後の配当金に関するご照会・株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人 手続き用紙のご請求方法 <input type="checkbox"/> 音声自動応答電話によるご請求 TEL 0120-244-479 (通話料無料) <input type="checkbox"/> インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/

*特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

2 証券会社等の口座に記録された株式

証券会社等の口座に記録された株式の各種お手続きにつきましては、一部を除き原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

お手続き、ご照会の内容	お問合せ先
<ul style="list-style-type: none">・郵送物等の発送と返戻に関するご照会・支払期間経過後の配当金に関するご照会・株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目 10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料) (平日9:00-17:00)
・上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。



日本ガイシ株式会社

〒467-8530 名古屋市瑞穂区須田町2番56号
TEL (052) 872-7176 E-mail: share-gr@ngk.co.jp

